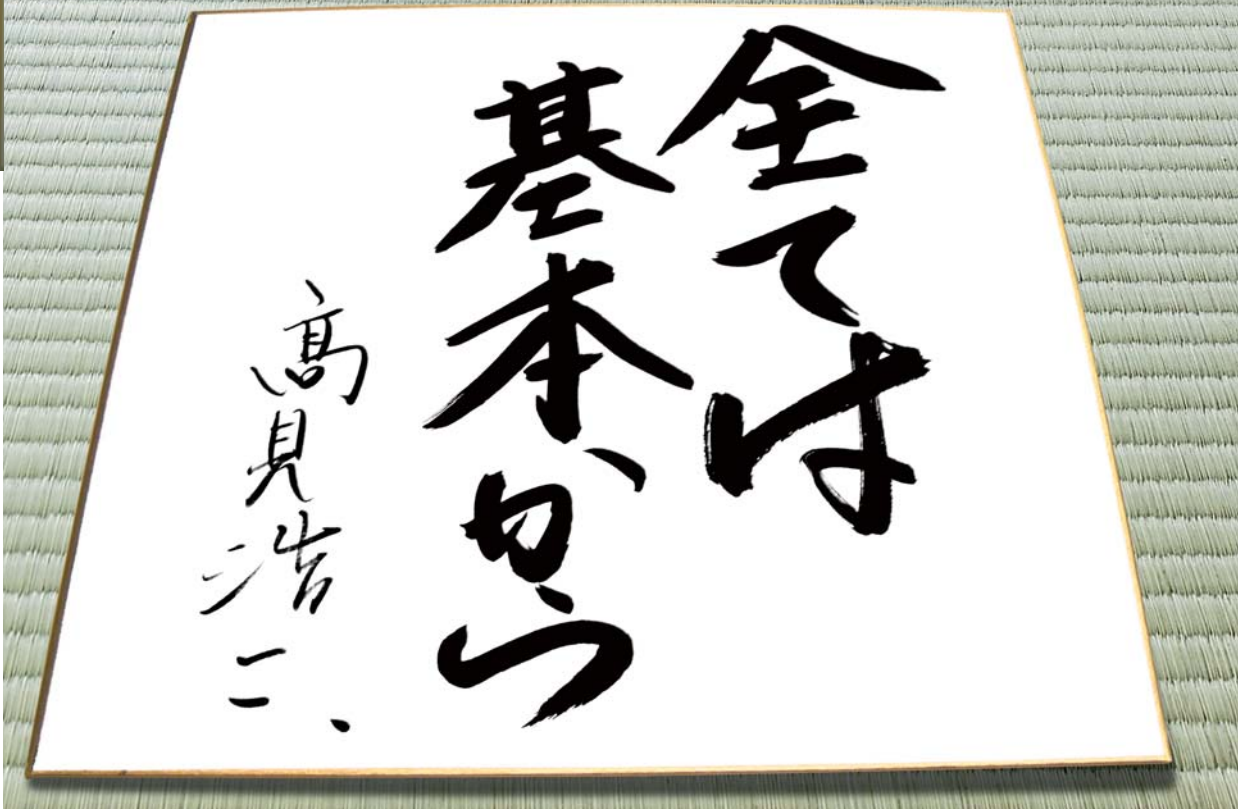




私の一筆

高見 浩二



This interview 【今号の会員様インタビュー】

## 基本に戻れば、 解決の糸口が

ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)  
取締役営業部長

高見 浩二

# GCCO INFORMATION

## Lounge

### 日本酒フェア

～クール ジャパン!～

日本の文化、お酒を注ぎ合うスタイルをもう一度見直しませんか。こだわりの日本酒に合う、和食料理をご用意。おいしい食材の豊富なこの季節、和の心でおもてないたします。

- ◎期間 / 10/4(月)～29日(金)
- ◎料金 / ￥4,000(税込)  
お食事のみのパックです

「マイお猪口」をお持ちいただいた方はデザートプレゼント!

## Banquet

### 忘・新年会

阪神トラトラプラン～六甲おろし～

阪神ファン必見!  
クイズに正解して  
豪華商品を  
ゲットしましょう!

無敵の我等プラン (和食・洋食・中華) ￥8,000(税込)	鉄腕強打プラン (和食・洋食) ￥7,000(税込)
闘志洩刺プラン (和食) ￥6,000(税込)	青春の覇気プラン (洋食) ￥5,000(税込)

◎期間 / 11/15(月)～1/31(月)  
◎実施人数 / 6名様～  
◎内容 / プッフェ

・料理8種以上  
牡丹海老のスプーン一杯の笑み、フレッシュフォアグラと大根の胡麻味噌焼き、とろろオムレツ、漬け本マグロのたたき、など

・フリードリンク  
ビール、ワイン(赤・白)、焼酎、ウイスキー、日本酒、ソフトドリンク、など

宴席の最後には  
ジェット風船を飛ばしましょう!

## Event

### GCCOメンバーシップ・コミティ主催

#### 第27回 メンバースーパーパーティ

### 『北ヤードプロジェクト、ナレッジキャピタルとは』

大阪キタを中心に様々なジャンルの最先端テクノロジーと、アート、エンターテインメントが集まるナレッジキャピタル、その最新情報をお届けします。

◎参加費 / ￥3,000(懇親会込)  
◎日時 / 10/29(金) 18:30～20:30

【ホスト】(株)竹中工務店 大阪本店 副本店長 黒田 啓介氏  
(株)竹中工務店 プロジェク開発推進本部 課長 水方 秀也氏

### GCCOメンバーシップ・コミティ主催

#### 第28回 メンバースーパーパーティ『CM どうでしょう』

最近のCMは元気ない、効かない…それは、本当でしょうか。講師の豊かな経験を通して得た、最新のCM事情、効くCMの秘密に迫ります。

◎参加費 / ￥3,000(懇親会込) ◎日時 / 11/22(月) 18:30～20:30

【ホスト】(株)電通 第二営業局長 田嶋 正雄 氏  
【講師】(株)電通 CMプランナー 赤松 隆一郎氏  
【プロフィール】1969年生まれ  
カンヌ国際広告祭銀賞、アドフェスト金賞、ACC金賞など最近の代表作では、サントリー「DAKARA余分3兄弟シリーズ」(天海祐希)、Au「ガンガンシリーズ」(土屋安娜)

### GCCOアクティビティ・コミティ主催

#### 第6回GCCOゴルフコンペ

in 有馬ロイヤルゴルフクラブ

「光と陰の魔術師」Von・Hagge(ボン・ヘギー)戦略。四季の変化や時刻によって、千変万化するコースの陰影さえも、デザイン戦略の重要なファクターとして、見事に活かす彼の技法を、秋も深まるこの時期に、一緒に楽しみませんか。

◎日時 / 11/27(土) ◎場所 / 有馬ロイヤルゴルフクラブ  
神戸市北区淡河町北畑571

◎プレイ費 / ￥18,500 ◎表彰式 / 12/2(木) 19:00～  
◎参加費 / ￥5,000(表彰式、会費費込) ガーデンシティクラブ大阪(大忘年会)にて  
◎定員 / 20名 ※詳細はお申込後、別途お知らせいたします。

### アクティビティ・コミティ主催

#### 第3回目 GCCO大忘年会

GCCO大忘年会が今年も催されます!  
今年Tango Berretinが奏でる優雅なタンゴとともに、美味しい料理と楽しい時間を満喫ください。

◎日時 / 12/2(木) 19:00～21:00  
◎参加費 / ￥5,000

豪華商品が飛び出す大抽選会  
GCCO恒例 仮装パーティ&仮装コンテスト

◎日 時 / 12/2(木) 19:00～21:00  
◎参加費 / ￥5,000

料金はすべて税金・サービス料が含まれております。

### スタッフ紹介 vol.17

ふじせ かな  
経 理 藤 瀬 佳 奈

「お客様の声を大切に！」  
日々勉強ですが、お客様一人一人の声を大切に、サービススタッフをサポートしていきたいと思っております。

◎趣味・映画鑑賞・ネイル ◎生年月日・昭和59年12月30日(25歳)



イベントのお申し込み・各種お問い合わせは  
**TEL.06-6343-7770**  
会報に関するご意見・ご要望もお待ちしております。

GARDEN CITY CLUB OSAKA  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6F  
TEL.06-6343-7770 FAX.06-6343-7773  
<http://www.gcco.jp/>  
メールでのお問い合わせは info@gcco.co.jp



ちちんぷいぷい(MBS)、大阪ほんわかテレビ(YTV)で紹介!  
本場ドイツで認められた ハム・ソーセージ・ベーコン  
製造元は「大原ハム工房」

爽りの秋。食欲の秋真っ盛りです。今や食通の方々の間で、静かなブームを巻き起こしつつあり、ここガーデンシティクラブ大阪でもラウンジにてご提供をさせて頂いております。手づくりハム、ソーセージでお馴染みの大原ハム工房(大阪市住之江区北加賀屋5の7の25/06-6685-0015)をご紹介します。同社は2005年11月創業のフレッシュな会社ですが、その味は既に世界が認めるところでもあります。

### 美味しさの秘密…ケンポロー豚とは?

素材に使用しているケンポロー豚は、「毎日食べても健康を害さない食材」との思いから、イギリスの2つの大学で開発されました。その開発元である英国ケンブリッジ大の「ケン」と、エジンバラ大の「バラ=ポロー」を組み合わせた良質な肉を持つ豚の総称を言います。ケンポロー豚の特徴は、育成の際にノンストレスで育てることだそうです。このケンポロー豚、コレステロールも極めて低くヘルシーで、毎日食べても安心の食材だそうです。大原ハム工房では、その肉の味をいを生かすために、増量剤、合成保存料、着色料は一切使わず、塩もマイルドでコクのあるドイツアルプス産の岩塩を採用するなど、美味しさの追求に加えて、体にも自然にも優しい製品づくりを心がけています。



### 味は人にあり

大原ハム工房の「味」をリードするのは、山内啓輔工務長。とはいえ元は公務員という経歴の持ち主です。ハム作りは全くの素人からのスタートでした。関東の有名店での基礎習得から始まり、ドイツのマイスターに製造手法を勉強し、精肉店で実際に販売までも修行するなど前途洋々とは言えないスタートでした。「食は広州にあり」などと言いますが、食通の方の中には「味は人にあり」といわれる方が案外多い。素材の良否、技術の巧拙。これらはもちろん味の決め手の重

要な要素ですが、トータルとしての味の決め手、総合的、最終的な美味しさは、その料理人の人柄に依っているという。企業は人なり、と言いますが、味も同じだということでしょう。

### 美味しさへのアクセスは…

このところインターネットで、大原ハム工房のホームページ「ハム一番」へのアクセスが急増しています。関西発信のワイドショー、「ちちんぷいぷい」(MBS)や「大阪ほんわかテレビ」(YTV)、月刊誌「大阪人」などさまざまなメディアで、その味が相次いで紹介されているからです。それもそのはず、2007年の「IFFA(国際食肉産業見本市)」(ドイツ・フランクフルト)に8種類の製品を初出品したところ、金賞5、銀賞2、銅賞1と、すべてが入賞の栄に浴した、世界的にもその美味しさに折り紙がつけられた大原ハム工房の「味」なのだから。今年は2010年。日本での評価が、むしろ遅きに失した感さえあるほどです。

ですが、こんな周囲のざわめきをよそに、山内工務長は「これからは手間を惜みず、手づくりの良さ、そこから醸し出される美味しさを徹底的に追及していきたい」と謙虚そのもの。将来の夢であり、その名の由来ともなっている京都・大原・三千院門前での製造販売も、現実味を帯びてきたようです。

大原ハム工房 <http://www.oharaham.com/>  
ハム一番 <http://www.ham-1.com/>





第6回YEA企画 2010年7月12日(月)

なにわの繁盛請負人が熱く語る「プロレスで関西を元気に!」

「関西を元気に!」をモットーに日々活動をしている、GCCOの若手企業家の会「YEA」(ヤングアントレプレナーアソシエーツ)をホストに、講演会が開催されました。今や大阪名物ともなっている、大阪プロレス(株)より、会長を招いて講演頂きました。大阪のパワーと笑いを社会貢献に繋げるべく、日々活動している坂上氏の熱い思いをお話し頂きました。懇親会では、坂上氏を囲み、様々な質問が飛び出すなど、和やかな場となりました。



講演会風景  
**講師** 大阪プロレス株式会社 代表取締役会長 坂上 雄司氏  
**ホスト** 株式会社エクス 代表取締役社長 抱 厚志氏  
 株式会社梅酒屋 代表取締役 上田 久雄氏  
 株式会社サイバーネーション 代表取締役 喜納 広樹氏  
 株式会社ブレインウェブ 代表取締役 園田 有希生氏  
 株式会社ワークステーション 代表取締役 富永 優子氏

第25回メンバーズパーティ 2010年7月22日(木)

「アサヒビール西宮工場見学」

毎年恒例の「紋りたてビール」を楽しみに、アサヒビール工場見学が開催されました。今回は、西宮工場を見学後、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)について講演頂きました。実際に「視覚」を使ったクイズでは、5Sの大切さを体感致しました。講演の後は、VIPルームにて、紋りたてのビールを思う存分堪能いたしました。やはり紋りたてのビールは最高です!



工場見学風景  
 講演風景  
**ホスト** アサヒビール株式会社 大阪統括支社 理事 支社長 関島 力氏

第12回アクティビティ・コミティ主催セミナー 2010年8月30日(月)

「最新ITオモシロ事情」

今話題の、クラウド、ツイッター、iPhone、iPad...など、最新のIT情報を事例と合わせてお話し頂きました。現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および環境を示す「拡張現実」の話では、実際に「セカイカメラ」http://support.sekai-camera.com/ja/をパソコン上で説明頂き、身近な拡張現実を体感して頂きました。進化し続けるIT業界。明日からでも、身近にビジネスに取り入れられそうな情報に、参加者の皆様は興味津々のご様子でした。



講演会風景  
**ホスト** 株式会社エフシーエス 代表取締役 藤本 繁夫氏

基本に戻れば、  
解決の糸口が

高見 浩二 Koji Takami



PROFILE  
 高見 浩二 略歴  
 昭和27年1月 兵庫県姫路生まれ  
 昭和47年4月 神戸高等土木工学科を卒業し、日本国有鉄道に入社  
 昭和62年4月 国鉄民営分割によりJR西日本に入社  
 鉄道建設部門で新線、新駅など鉄道整備に傾注  
 ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) 取締役役に就任  
 平成21年6月 営業部長職のほか計画系部門の担当役員として  
 その任にあたる

高見流“美学”



現場監督時代の高見氏

組織と人との新たな関係づくりを模索

独力では達成できない目的を効率よく、正確、かつ持続的に達成していくため、私たちは組織をつくる。達成するべき目的が、世のため、人のためである以上、組織の基本は、人が主役であることは言うまでもない。しかし、一度できた組織は、組織の存続という「見もつもらしい大義の下、人に不合理的なことを強いるケースが往々にしてある。いわゆる「リストラ」などは、その典型だろう。

最近、若い人たちの能力や意欲に疑問を呈する声を結構聞く。が、二歩踏み込んで、このテーマを考えると、「組織の論理」が若者の伸びゆく芽を摘んでしまっている事例が、かなり多いのではないかと思わざるを得ない。バブル崩壊やリーマンショック、そしてデフレ進行が、日本経済からゆとりを急速に奪いつつある。企業はコスト削減の名の下に、目先、収益が期待できない部門からの撤退や縮小に懸命だ。私が最初

トのような地位に追いやられている。土木の仕事は、もちろんクリエーターだが、既に開発されたシステムや技術の占めるウエイトが圧倒的に高い。それだけに、過去の経験、システムや技術の引き出しの豊さに、その結果が負うところが非常に多い。

「土方」になて35年余り。システム、技術の伝承者の一人になった今、感傷に逃げ込んでいては、その役目を果たせない。「ひとりの仕事における率先垂範を通じて、若手への技術継承を身をもって進めるとともに、日本の21世紀の発展に資する、組織と人との、新たな関係づくりの助になりたい」と思いも新たにしている。

初めに安全ありき

私が社会に出るころは、大学紛争に象徴されたように、今とは違った意味で、日本がつの転換点を迎えていた。こんがらがった労使紛争も抱え、どん底にあえていた旧国鉄の民営化も、そんな時代の意思の反映だった。兵庫県姫路市で、子供のころから山陽新幹線の延伸・開通に親しんできたこと。日本の土木技術は鉄道の発展とともにあったこと。全国のいろんな所で仕事ができること。それに何よりも、国鉄はここまでどん底に落ちたのだから、後は這い上がるだけだろう、と思えたこと。そんな理由から、旧国鉄に入社した。再生へのスタートを切った国鉄、JRは期待に違わない充実した職場だった。主に「計画屋」として、大阪、東西線事業など数々のビッグプロジェクトに携わったが、経験を積むことに、プランの内容に、味や、コクなどが自然に盛り込むことができるようになるなど、自らの成長を併せて確認できたことも、得難い体験になっている。



新大阪駅 新幹線0番ホーム増設工事

お客様という視点で、目からうろこ

あるときベットの兔がもたらす喘息にかかった。死ぬような苦しみに遭って、たばこをやめた。すると、急激に太り始めた。すでにやっていた家内に後押しされて、15年前に始めたのが、エアロビクス。週末の午前中の欠かせない行事になっている。会社にも、今年の1月に「エアロビクスクラブ」をつくり、毎週水曜日に13人の同好の士と楽しんでいる。自分のエクササイズ姿は、決してほめられたものではないが、とにかくやっている間はひたすらエクササイズに集中できるのが、何よりのストレス解消になっている。この道の先輩の家内とはレッスンのクラスが違うが、時に家内が私の属するクラスに来たりすることがあ



社内エアロビクスクラブの様子

半面、こうした仕事での忘れられない思い出以上に、忘れられない、や忘れてはいけない悲しい思い出もある。山陰線旧線跡鉄橋列車転落事故(1986年12月、死者6人)、滋賀県信楽高原鉄道列車正面衝突事故(1991年5月、死者42人)、JR福知山線脱線事故(2005年4月、死者107人)である。いずれの事故の際も、亡くなられた方、怪我をされた方への弔問やお見舞い、また「遺族やご家族とのお話し合いなど、個人的にも辛い仕事を担当した。「初めに安全ありき」。輸送機関の基本はここにある。いずれの事故も、結果として組織がその基本に真摯に向き合っていなかったことで、もたらされた大惨事であったのではないか。私たち鉄道マンは、「人は失敗する存在である」ことを肝に銘じて、輸送機関の全ての基本「安全」に、勇気を持って取り組まなければならぬ。

今はどうだ。数字上の効率化に傾く余り、分業化が進みすぎ、極端に言う、技術者が単機能のロボットに、忘れられない、思い出以上に、忘れられない、悲しい思い出もある。山陰線旧線跡鉄橋列車転落事故(1986年12月、死者6人)、滋賀県信楽高原鉄道列車正面衝突事故(1991年5月、死者42人)、JR福知山線脱線事故(2005年4月、死者107人)である。いずれの事故の際も、亡くなられた方、怪我をされた方への弔問やお見舞い、また「遺族やご家族とのお話し合いなど、個人的にも辛い仕事を担当した。「初めに安全ありき」。輸送機関の基本はここにある。いずれの事故も、結果として組織がその基本に真摯に向き合っていなかったことで、もたらされた大惨事であったのではないか。私たち鉄道マンは、「人は失敗する存在である」ことを肝に銘じて、輸送機関の全ての基本「安全」に、勇気を持って取り組まなければならぬ。

る。私よりはるかにうまいのだが、恥ずかしくてたまらない。

エアロビクスと並んで、今、集中しているのが、ゴルフ。この会社へ来て仕事の関係でプレー機会が増えたことから、思い切つてレッスンプロについて、から始めることにした。週末は朝5時半から打ち放で汗を流した後、エアロビクスで体を引き締める。仕事やラウンドのない週末の今の目課だが、実に爽快だ。休みだからといってゴロゴロしているのが嫌な性格の私にとって、まさにぴったりだ。そのうえ、ゴルフでも座右銘の「全ては基本から」を実践しつつあるのだから。

今でもそうだが、とにかく何か壁にぶち当たった時、とにかく「そもそもこれは何のために」など、その基本に立ち返るように務めている。そうすると、自ずと解決の糸口などが見えてくるものだ。商売の基本、原点は、と言えば、「お客様のため」、「お客様さまの満足度の向上のため」というところに求められるだろう。旧国鉄時代とJR時代との最大の違いは何かと聞かれたら、私はためらうことなく、「お客様さま」という視点の有無にあると答える。技術者として、何かプランニングする際、「お客様さま」という視点というより、職員など鉄道に従事する社員の立場に重点が置かれていたと思う。そんな技術者は私だけだったのだろうか。

ガーアアシテイククラブ大阪では、これまでの「土方人生」ではお目にかかれなかった、さまざまな職種、階層の方にお会いでき、お話をうかがえる。残り時間は少なくなるとは言え、私の仕事に新たな彩りや実りを添えてくださるだろうことは、間違いない。ここでの得難い体験を、会社の若手にも伝え、彼らの「お客様さま」の厚みを増す一助にしたいものだ。

プロを目標されたほどで暇さえあればキャンパスに向かわれてはお父さまのDNAが、絵を描くことも観ることも好きな高見さん。とりわけ神戸出身で、美しいモデルを美しく描いた清楚な女性像で人気の高い小磯良平がお好きだとか。子供のころ、お住まいのリネアルの際、大工さんの仕事ぶりを目がな眺められていたというエピソードからもうかがえるように、機能美の審美眼も相当なものをお持ちのように。中学時代は吹奏楽部でクラリネットを吹かれ、高専に入ると転じて、少林寺琴法を学ばれた。本当は空手をやりたかったとのことだが、少林寺の方が格好良かったので、ここでも氏流の美意識が発揮されたようだ。こういうインタビエの定番の質問である、お好きな本は?に、「申し上げるような形で、本は読んでいないのですよ」と、これまで、定番の「強いて挙げるならば」との答えを頑なに拒まれた。そこでのお答えが「絵は観るのですが」だった。自分に極めて正しいものも、やはり高見流、美学の表れなのだろう。そんなお人柄だけに、「どのようなお詫びの言葉よりも、無事故であり続ける」という現実をお話し続けること。そして、それに向けて挑戦し続けることこそが、私たちが遺族や怪我をされた方、ご家族におこたえできる唯一の道ではないか、と、安全に対する高見語録に、ずしりとした重みを感じた。(編集子)